

松陵小学校統廃合ニュース

「第7号」

平成23年12月6日発行

第7回松陵小学校地域懇談会が開催されましたので、その概要を松陵小学校及び松陵西小学校の学区内にお住まいの皆様にお知らせします。

【日時】平成23年11月3日（木・祝） 10:00～12:40

【場所】松陵小学校 1階 みどりの教室

【次第】

- 1 規約の改正について
- 2 報告 (1)平成24年度松陵小入学予定児童保護者説明会について
- 3 協議 (1)松陵地区における新たな小学校開校の方向性について
(2)その他



協議の流れ

7月の第6回地域懇談会で、統合について各保護者会、町内会の意見をまとめることとしておりましたので、各保護者会、町内会から意見を報告した後、協議を行いました。

各保護者会、町内会の意見として

「松陵小と松陵西小を統合することに概ね賛成」
と報告されました。

委員の意見（抜粋）

- ・統合に向けて教育環境などの要望・条件を整えた上で開校年度を示すべき。
- ・開校年度を決めることで保護者の不安が取り除かれるのではないか。
- ・今まであった松陵小が無くなるのは本当に大変なことと思うが、教育委員会も要望・条件の実現に向けて最大限努力するということであり、新しい素晴らしい学校ができると信じている。

【懇談会としての確認事項】

- ・松陵小と松陵西小の統合を前提とした要望・条件を整理する。
- ・新しい学校は平成25年4月を目途に開校する。

確認内容に沿って、教育委員会から要望・条件を整理するため「調整会議」の設置について提案があり、今後は以下のとおりに協議を進めることになりました。



【調整会議の概要】

- ・要望や条件を協議する場として、調整会議を行います。
- ・懇談会幹事が調整会議の世話人となります。
- ・参加メンバーは懇談会委員を中心に世話人と教育委員会が協議して選出します。
- ・要望・条件は世話人が取りまとめを行います。
- ・要望・条件の協議は年度内を目標に完了します。

◆一定の結論が出ましたので、懇談会での協議は今回で終了することとなりました。

1 規約の改正について

松陵小保護者会の代表を8名とすること、西小学区からも幹事2名を選出し、幹事を3名から5名に変更することについて、必要な規約を改正しました。

2 報告(平成24年度松陵小入学予定児童保護者説明会について)

平成24年度松陵小入学予定児童保護者に対して教育委員会による説明会を開催し、以下の点を説明したと報告されました。

- ・仙台市は学区制をとっており、住所により通う学校が指定されていること。
- ・指定校の変更は原則として許可基準に基づくこと。
- ・昨年、松陵小新入学児童が予定よりも著しく減少すると見込まれたため、教育的な配慮により西小への指定校変更を行ったこと。
- ・個別の事情がある場合には担当の学事課までご相談いただきたいこと。



3 協議(松陵地区における新たな小学校開校の方向性について)

第6回懇談会で「大震災を経験し、統合について改めて保護者や町内会の考え方を整理する必要がある」という意見があったため、各保護者会、町内会から取りまとめた意見を報告し、松陵地区における新たな小学校開校の方向性を協議しました。報告された意見は以下のとおりです。

松陵小学校保護者会

1月の臨時PTA総会で統合に関して多数決を取り、賛成が若干上回った。また、2月の第5回地域懇談会では統合の方向性を確認した。ただし、統合に向けて教育環境などの条件や要望を整えた上で統合年度を示すべきと考える。

松陵西小学校保護者会

今年、保護者アンケートを行い、統合について肯定的な結果となった。校名・校章・校歌、PTA組織なども西小ベースではなく、時間をかけて協議していければよい。

松陵一・二丁目町内会

松陵小と西小の2つの学区に分かれた町内会であり一本化したいと考えていた。多くの子どもたちと触れ合うことや、現在松陵小に通う地域の通学路の安全性など、総合的に考えて統合していい。

松陵東町内会

9月の役員会などで役員から意見を求め、子どものことをまず考えようと話し合った結果、統合賛成の意見が多く、松陵全体を考えると、今後は統合の方向で話を進めたほうがいいという意見でまとまった。統合する場合、松陵小跡地が廃墟になる不安もあるので、空白期間がないように進めてほしい。

松陵三丁目町内会

統合に賛成。松陵小学区の子どもが西小に通っているという状況もあり、学区民運動会に参加していいのかといった不安も子どもたちに持たせている。一緒にやっていく形を作してほしい。

松陵住宅自治会・百合が丘町内会(欠席のため幹事より報告)

子どもたちのために、まず子どもたちがどうしてほしいかを考えて統合すべきではないか。

永和台町内会

役員、班長会で話をし、全員一致で統合に賛成。子どもたちは切磋琢磨して、一緒に競争しながら社会の中で育つ。昔と違って群れて遊ぶこともなくなった社会で、せめて一緒に多くの子どもたちと仲良く勉強とスポーツをし、そして精神も強くしてほしい。

歩坂町内会

8月の役員会で意見を聞き、役員全員が統合に賛成であった。多くの中で育っていくのが子どもたちの本当の姿だ。幼稚園や施設も1つで皆学んでおり、このくらい統合に適した地域はない。

■ 委員等の主な意見

○松陵地区における新たな小学校開校の方向性について

- ・もし松陵小が西小と統合されたら、空いた松陵小の空間はどうするのか。(傍聴者)
→松陵小の跡地利用については、両校の統合の方向性を出していただいた時点で、新しい学校の開校準備と並行して、地域と話し合いながら検討していきます。(教育委員会)
- ・教育を受ける子どもにベストな環境を作ることが一番大切。少子高齢化の現在、地域のあり方を示す最高の場が、松陵小と西小を統合して新しい学校を作るあり方だと思う。本当に子どもたちのためになる教育の場を作り上げてほしい。(傍聴者)
- ・新しい学校というが、人数が少ないのは松陵小の子どもたちなので、今の松陵小の子どもたちとその保護者の意見を尊重してほしい。
- ・子ども子どもと言っているときに地域から考えるのはマイナスに聞こえるかもしれないが、子どもたちは学校だけでは手に負えない。地域と学校の両方で子どもを育てるのだ。(傍聴者)
- ・統合について前に進めるという話だが、松陵小保護者としては条件が整わなければ統合に賛成ではないと感じている。条件が合わなければ統合をやめるということもあり得るのか。
→子どもが少なくなっていることを踏まえ、PTA 会長から示された統合賛成という意見が保護者の総意だと思います。統合に向けた要望・条件については、制度上できないこともあるかもしれませんが、子どもたちが新しい学校で不安なくスタートできるよう、教育委員会として一所懸命対処したいと思います。そういう前提で、要望・条件が決裂したから統合もしないということは、今までの経緯を考えればないと思います。(教育委員会)
- ・小学校を統合しても、約半分の子どもしか松陵中に入学せず、小学校よりも生徒が少なくなる。中学校は部活と受験が関わってくるので小学校よりも問題が大きい。統合の条件として中学校の問題もぜひ加えてほしい。
→中学校のあり方を考えていく上では、色々な可能性を前提に地域や保護者の意見を伺って考えなければなりませんので、小学校の統合と並行して進めると、もしかすると小学校よりも更に時間がかかるかもしれません。小学校が抱えている課題も固有にありますので、まず小学校をどうするかについて判断していただきたいと思います。(教育委員会)
- ・一貫して地域は流れているのだから、小学校は小学校、中学校は中学校という括りはやめてほしい。そこも踏まえて新しい学校にするならば賛成だという意見も出た。そのような中で小学校はこうする、中学校はこうするというものがないと、いつまで経ってもこの話は決着はつかない。地域は賛成も反対もあるので、最終的には教育委員会が決めてほしい。
→中学校についても、今後保護者や地域の考えを伺っていききたいと思います。教育委員会の考え方の基本は「地域と共に歩む学校」であり、保護者や地域の協力をいただいて地域の中で子どもをしっかりと育てていきたいということで、今は中学校区を中心として9年間で子どもたちを育てていくという新しい施策も始めています。学校のあり方について、地域不在で一方的に結論を出すものではなく、重大な問題なので、ご意見をしっかりと伺って教育委員の会議に伝え、今後の方針をどのようにするか議論してもらうことにしたいと思います。(教育委員会)



・地域の現実とすれば、地域コミュニティ、地域のあり方と同時に、中学校の規模の縮小化をどうするかということがある。地域を考えて学校を考え、学校を考えて地域を考えていくわけだから、中学校は全く違うというのはありえない。並行して地域を考える上で小学校とともに中学校区のあり方を考えるという前提で進んでいくという理解は必要である。

- ・統合することや開校年次を発表すると、本来なら松陵小に入る子どもたちが西小に流れてしまうのではないかと、松陵小に子どもがいなくなるのではないかと考えたので、先に条件整備がなされなければ開校年度を決めるべきではないと思う。

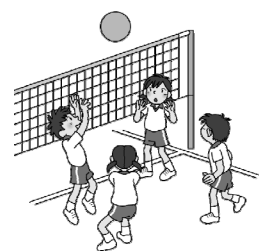
→各家庭には統廃合ニュースが配られており統合について関心がある。小さな子どもを持つ親の立場からすると、むしろ早く決めてほしいということと思う。親として悩んでいることもあるので、そろそろ方向性なり結論を出しても良いのではないかとと思う。

- ・懇談会に関して、これまでと同じような形で第8回と継続するのか、それとも、統合の方向で決まったから、次のステップを踏むために何らかの別の委員会を設立して進めていくのか。

→統合する方向性と開校年度を決めてもらえれば、懇談会としての一定の結論が導かれたと理解し、1つステップを前に進める形として、統合を前提とした要望・条件を調整する会議を設置したいと考えています。(教育委員会)

- ・松陵小としては、開校年度を決めないで条件を先にしてほしい。統合はしなくては行けないが、条件がうまくいかないときに誰が責任を取ってくれるのか。通学路も学習環境も教員配置も何も決まっていな中で、年度だけが先行するのが保護者は不安だ。

→今まで自分の地域の学校としてあった松陵小が無くなるのは本当に大変なことと思う。でも統合しようと決まったからには、教育委員会も松陵小保護者の言う条件の実現に向けて最大限努力するということがあり、新しい素晴らしい学校ができると信じている。



- ・新しい学校の開校が平成25年4月ということは、1年で開校までの全てを準備することになる。以前の資料で、子どもたちの交流を含め約1年半か2年の期間を取ればスムーズに移行できるとあったが、1年では短くないか。

→以前の資料は、地域からの要望が何も無い中でのスケジュールとして提示しました。今回は、3月までに要望・条件を整理すれば開校までのメニューが大体決まり、その分時間が短縮できますので、平成25年4月開校を目途として提案しました。(教育委員会)

- ・今後は要望・条件を協議する調整会議に移行するが、会議への臨み方として、これまでのような対教育委員会、対学校、地域対保護者ということではなく、お互いが条件整備をしていくという姿勢とすべき。私たちの子ども、私たちの地域、私たちの学校なのだから、私たちも相当に汗を流して知恵を出してやっていくことを理解の上で、次の会議に移行したい。

地域懇談会としての一定の結論が出されましたので、懇談会での協議は今回で終了することとなりました。

今後は、新たに設けられた調整会議において、新しい学校の開校にあたっての要望・条件を協議することとなります。

教育環境の改善についてご意見がありましたらぜひお寄せください



■松陵小学校地域懇談会事務局

仙台市教育委員会 学校規模適正化推進室

電話：214-8432 FAX：264-4428

Eメール：kyo019031@city.sendai.jp

※取組み内容はホームページでもご覧いただけます

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索